

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： GAST-139

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
胃がん (HER2陰性例)	Nivolumab +SOX	21日間	規定なし	☒ 進行/再発 ☐ 術後補助化学療法 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 放射線併用化学療法 ☐ その他	中	Annals of Oncology 30: 250-258, 2019

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分																					
②	オブジーボ 生理食塩液	360mg 100mL	点滴静注	30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	デキサート アロカリス パロノセトロン	6.6mg 235mg 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																				
⑤	エルプラット 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																				
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	ティーエスワン	80mg/m ² /日	内服	1日2回に分けて 朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		

<注意事項/備考>

- ✓ S-1投与量：BSA<1.25m²：80mg/day、1.25≤BSA<1.5m²：100mg/day、BSA≥1.5m²：120mg/day
- ✓ S-1：他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける） / 空腹時の内服は避ける（抗腫瘍効果減弱の可能性）
- ✓ S-1の内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで
- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 大腸炎、下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など

✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を